

(株)ニチレイ 第9回植物相調査報告

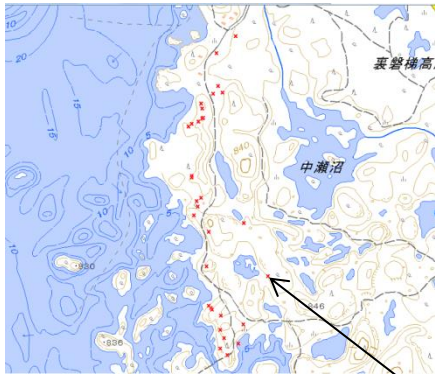
2014年9月19日(金)の午後～20日(土)に、黒沢研、塘研、木村研、難波研、廣瀬先生の連携研究「裏磐梯湖沼の生物相および周辺植生の総合調査」の一環として、(株)ニチレイ社有地の第9回植物相調査を実施しました。19日は加藤 沙織先輩、渡邊 祐紀先輩(共に黒沢研究室 M1)と私の3名で、20日は石川 和希君(木村研究室4年)、志賀 彩美さん(黒沢研究室3年)と私の3名で調査に向かいました。

19日はレイクランド桧原(キャンプ場)の周辺を、20日は(株)ニチレイ社有地の西側及び南側を中心に調査しました。また、(株)ニチレイから頂いた地図を解析し、(株)ニチレイ社有地のおおまかな範囲が分かったため、植物相調査と同時に杭も探しながら歩きました。

その結果たくさんの杭を発見し、(株)ニチレイ社有地の西側の範囲をほぼ確定することが出来ました。下の図は発見した杭の場所です。ところが、19～20日にかけて杭を探すことに懸命になり過ぎ、植物相調査の方は少々疎かになってしまいました。次回からは、本題に戻って頑張ろうと思います。

キク科やアケビなど採集した植物や、林内の様子、気温、どれをとっても「秋」という感じでした。裏磐梯高原の季節の移り変わりが当初の予定よりも早く、植物相調査の回数も限られてきましたが、雪が降るまでは出来る限りの調査をしようと思います。次回調査は、10月2日の予定です。

報告 黒沢研究室4年 遠藤 優年



発見した杭の位置



紅葉し始めた森の様子



境界線付近にある杭